

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

大量肝切除における門脈枝塞栓、肝静脈塞栓術の術後の肝機能不全の予防効果の後ろ向き検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 本庄真彦（肝胆膵乳腺外科学 助教）

【研究の目的】

過去に当院を受診され肝癌、胆道癌と診断され、大量肝切除を受けた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は大量肝切除の適応となる患者さんにおける有効な治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2007年7月から2025年12月31日に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち肝癌、胆道癌と診断された患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません

ん。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

本庄 真彦（愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵乳腺外科学 助教）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵乳腺外科学

助教 本庄 真彦

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5327